

道

2021年8月1日
(第72号)



自宅周辺
(真備町箭田／服部・遠田地区)

「苦しみがあった。／それが苦しみだと、／周りの、誰も気づかなかった。／苦しみは無言だったからである。」(長田弘『誰も気づかなかった』より)。▼オリンピック、メダルラッシュで金メダル「過去最多」に沸く日本。そのオリンピック下、コロナ感染拡大で「過去最多」を更新している。一方、昨年の税収はコロナ禍にもかかわらず「過去最高」という。製造業などの大企業増益が大きく寄与しているらしい。▼大きいニュースや話題に目や関心が向き一喜一憂しているその背後で、「誰も気づかなかった」けれど、そこに「苦しみ」や「激怒」や「微笑」や「無言」などが数限りなく存在しているのだろう。▼三年前の真備町で自宅が水没し、自宅から一五キロメートルぐらい離れた古いアパートの二階で暮らしたA男さん。一年後に再建した自宅に戻ったその半年後に、静かに息を引き取った。被災前は早朝に散歩するのが日課で健康そのものだった。ところが、移り住んだ所で散歩に出て警察などに保護されることが二度続き、自宅に籠るようになった。新しい自宅に戻れた時は、もう散歩する力は残っていなかった。死因は病死。「水害関連死」には計上されていないが、水害がなければ亡くなることはなかった。A男さんと彼の家族はどのような思いで生活していたのだろうか。▼「誰も気づかなかった」ところに、大切なものがあるのだ。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林道也



遠田
椋の木